

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市西山児童館	
2 指定管理者	特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター	
3 指定期間	令和5年4月1日～令和10年3月31日	
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和5年度 18,107人(前年度比 112.2%) ・令和4年度 16,145人 ・令和3年度 14,053人	
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業	
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 41,485千円 (41,164千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円)	
	《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)	
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者会を実施。	

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ブログの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンター）による自己評価》
<p>令和5年度の年間利用者数は18,107名となった。児童クラブの登録数増加が利用数増加の大半を占めることもあるが、コロナ対応が緩和されて乳幼児や自由来館の小中学生の利用が少しずつ戻ってきた1年となった。</p> <p>【児童健全育成】 小学生ボランティアグループ「ニシヤマセブン」は8名の新規登録があり、17名の構成員が1年間の活動にあたった。自然体験活動のジュニアボランティア活動を中心に、独自のサイクリング活動などを行った。また、仙台市社会福祉協議会宮城野区事務所等と共同で防災シュミレーションゲームの普及活動を令和5年度も継続して行うことができた。</p> <p>【子育て家庭支援】 鶴・燕・西子育て支援ネットワーク活動では、子育て支援に関する情報交換、共催乳幼児親子向け行事「子育て応援広場」を開催することができた。 宮城野区子育て支援部会に協力し、ママらいふ手帳の作成や配布、手帳講座を年数回開催することができた。</p> <p>【地域交流推進】 児童館祭り、クリスマスコンサートなど地域の方向けの行事を実施することができた。 まるっと鶴ヶ谷や市民センターのお祭り、小学校PTAバザーへの協力を通して地域交流の推進に携わった。</p> <p>【放課後児童健全育成】 学校教室タイムシェアのサテライト運営は2年目を迎え、対象学年を3、4年生とし、過ごし方について検討を重ねながら1年間運営にあたった。長期休業中の運営に関しては子どもたちが充実した1日を過ごせるよう、職員によるプログラム提供を工夫して行うことができた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、「フレンドパーク」を実施し、工作や謎解き宝探し、アスレチックなど多彩な遊びを提供しており、子ども達に人気の行事となっている。「フレンドパーク」を目的に自由来館で利用する子ども達もおり、利用者の増加に繋がっている。職員や在仙の留学生を講師として、海外の遊びや行事、食など様々な文化について子ども達に紹介する「世界の広場」を定期的に設け、子ども達の興味や関心を広げる取り組みを行った。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、「にしやま茶屋」を実施し、読み聞かせボランティアによるおはなし会や親子クッキング、季節のイベント等乳幼児への多彩な活動と共に、活動後にはティータイムを設けて保護者同士の交流が図れる場を提供している。年齢別の活動と共に、来館時に幼児や保護者が自由に参加できる、親子工作の「つくるもん♪」、多様な遊びを提供する「あそぶもん♪」を定期的に開催するなど、乳幼児親子が利用しやすい環境作りに努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、宮城野区の行事、地域のおまつりや学校でのイベントに児童館として参加しコーナー運営を行ったり、市民センターまつりでは児童のダンス発表を行う等、児童館が積極的に地域と関わり様々な取り組みを通して児童館事業の認知向上に努めている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、学校の長期休業日のプログラムを、本館、サテライトそれぞれで作成し、生活や遊びの充実を図る支援を行っている。また「地球探検隊」では様々な自然体験の場を提供し、子ども達の人気の行事となっているため、申込制としてより多くの児童が体験できるよう工夫して実施する等様々な遊びや体験の機会を提供し、興味関心を広げながら子ども達の豊かな人間性や自ら学び考える力を育てている。</p>	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課(施設所管課):こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課